

第69期中間期 **株主通信**
〈2023年4月1日～2023年9月30日〉

INDEX

- P01 Top Message
- P03 業績ハイライト
- P05 トピックス
- P07 会社の概況
- P08 連結財務諸表
- P09 株式の状況
- P10 株主アンケート集計結果のご報告
株主優待制度のご案内

CLEAN & HEALTHY





代表取締役会長

小野本孝二

代表取締役社長

浅井利明

新たな経営体制のもと、 さらなる企業価値向上に努め 株主の皆様の期待に 応えてまいります

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年6月に実施した第68回定時株主総会終了後の取締役会での決議を経て、代表取締役専務の浅井利明が代表取締役社長に就任し、代表取締役社長の小野本孝二が代表取締役会長に就任いたしました。会長の小野本がグループ会社の経営全般や対外的な活動を担っていく一方で、社長の浅井がトーカイ単体の事業推進に注力する役割分担をすることで、トーカイグループとしてより一層の企業価値向上を目指してまいります。

上半期を振り返って

2024年3月期第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」へと引き下げられ、

経済活動が急速にコロナ前の状況へと戻りつつあります。当社グループに関連するところでは、コロナ禍で落ち込んでいたホテルや旅館の稼働率が回復してきたことで、当社グループのホテル向けリネンサプライの売上も大きく伸びました。

一方、さまざまなコスト上昇の影響が依然として続くなか、人手不足が社会全体の大きな課題となってきました。当社グループとしては、工場や間接部門における生産性向上を推進するとともに、お客様への適正価格でのサービス提供をご理解いただけるよう営業活動に取り組むことで、収益確保に努めてまいりました。

また、人手不足への対応は、我々自身の経営課題であるとともに、今後のビジネスチャンスでもあると捉えています。従業員一人ひとりが付加価値を高めていくことに取り組みながら、人手不足に悩むお客様に対して、当社グループがどのような形で役に立てるのかを真剣に考えてまいりたいと思います。

中期経営計画の取り組み状況

当社グループは現在、2025年3月期を最終年度とする中期経営計画「Challenge for the new stage!」に掲げる方針に沿った各種施策を進めております。本中計で掲げる売上目標に対しては、現時点で順調に推移しておりますが、エネルギー価格の上昇や円安、人件費の高騰など、利益面では

中計策定時の想定と大きく状況が変わっています。引き続き、自分たちの努力で改善できることにしっかり取り組むとともに、各事業において収益性向上に向けた取り組みを推進していくことで、目標に向かって邁進してまいります。

10月には、関東エリアの新たな基幹工場としての役割を担う埼玉工場が、稼働を開始いたしました。病院リネンの洗濯工場と介護用品のメンテナンスセンターとしての機能を有する当工場の稼働を通じて、病院関連事業とシルバー事業の一層の生産効率向上および売上拡大を目指してまいります。また、最新の洗濯設備の導入、太陽光パネルや排水リサイクル設備の設置などにより、生産活動に伴う環境への負荷をできる限り低減させることにも積極的に努めてまいります。

株主還元について

最後に、株主の皆様への還元につきましては、当社配当方針に沿って配当額を決定させていただいております。これにより、2024年3月期の中間配当は従来予想通り1株当たり25円とさせていただきます。引き続き、中期的な成長に資する投資の実行を通じて企業価値の向上と株主価値の最大化を図るとともに、安定的かつ業績に対応した配当を継続していく方針です。

株主の皆様におかれましては、引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

上半期の業績について

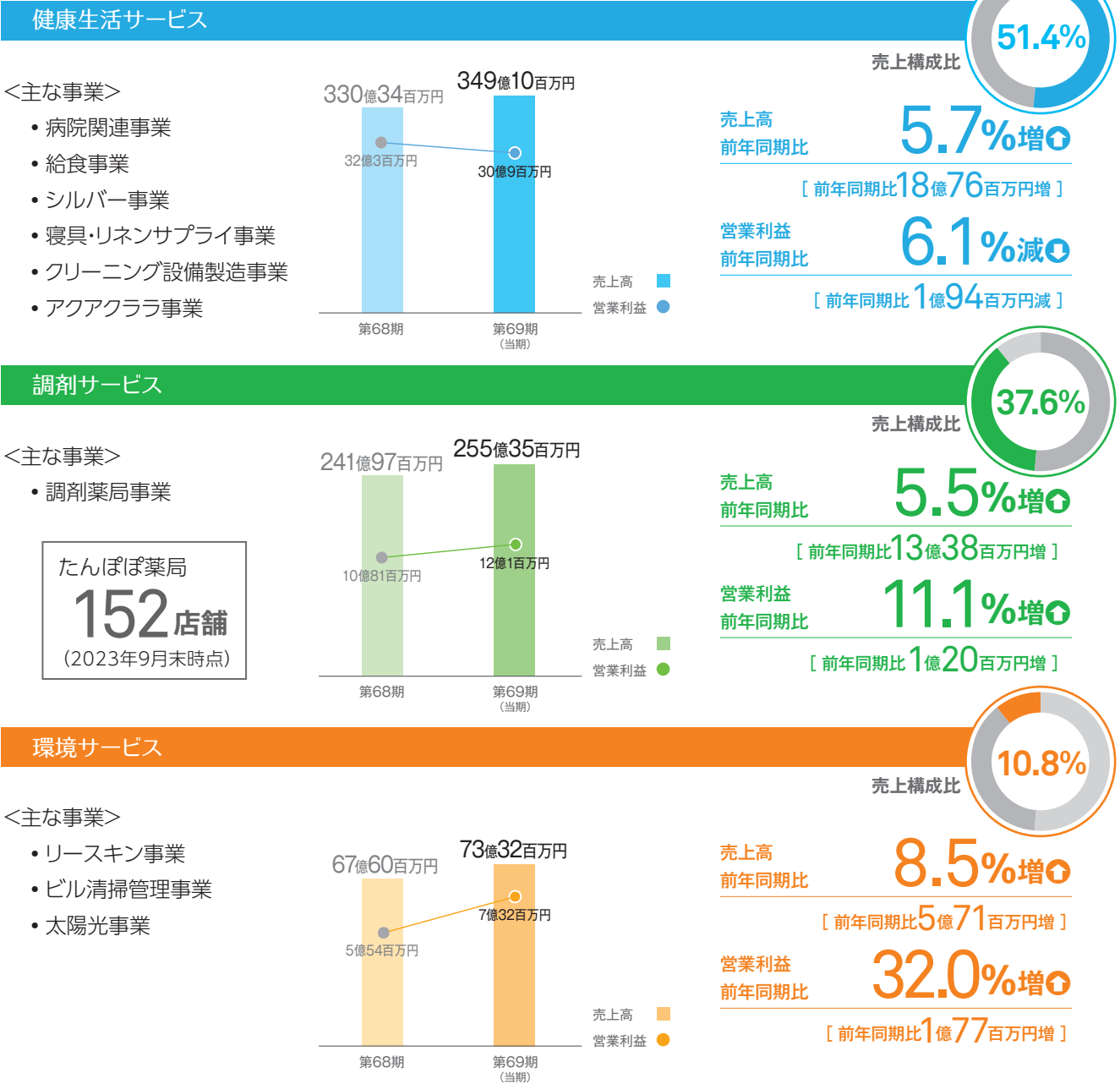
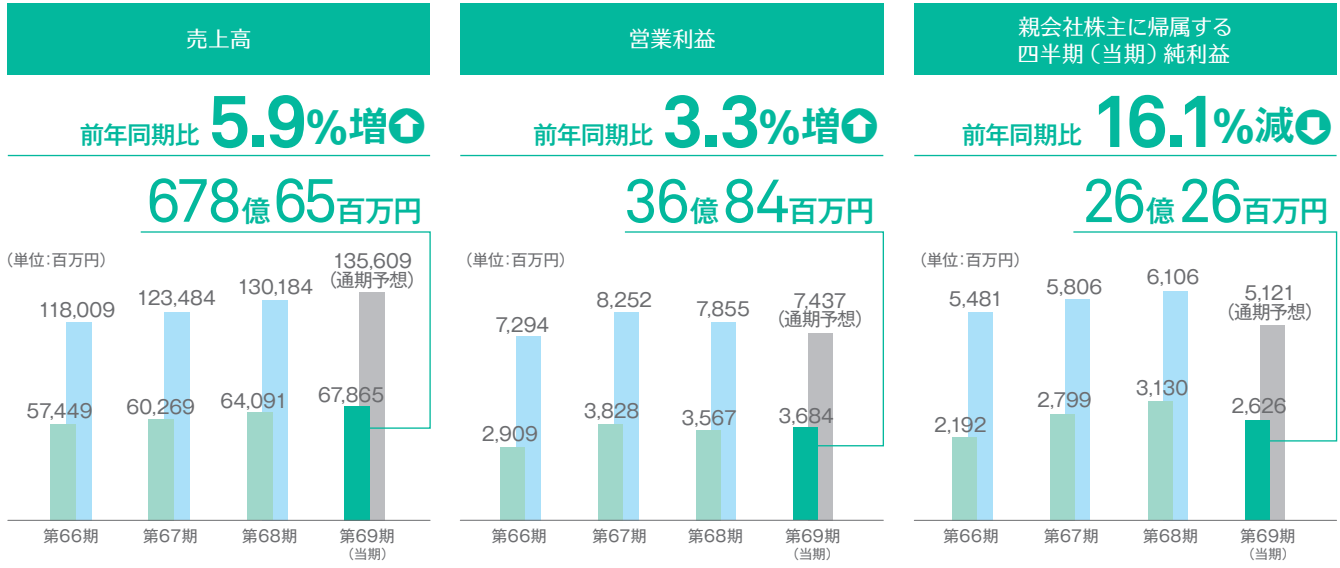
当第2四半期累計期間においては、主要事業が順調に推移したほか、コロナ禍の影響が残っていた事業の回復やグループ会社の統合効果などにより、売上高は3年連続の増収となり過去最高を更新、営業利益も2期ぶりの増益となりました。四半期純利益については、前期にグループ会社での不動産の売却益等の計上があったことにより減益となりました。

健康生活サービスは、シルバー事業の介護用品レンタルや、病院関連事業の戦略商品である「入院・入居セット」の売上が好調に推移したことに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていた宿泊施設向けの寝具・リネンサプライ事業およびクリーニング設備製造事業の売上が、観光需要の拡大に伴い大きく回復したことから、増収となりました。利益面につきましては、コロナ禍の収束に伴うレンタル資材費の増加、事業拡大のための人件費の増加、10月稼働

の埼玉工場に係る一時費用の発生などにより、減益となりました。

調剤サービスは、前期および当期に出店した新店効果による処方箋枚数の増加および処方箋単価の上昇により増収となりました。利益面につきましては、かかりつけ機能の強化に取り組んだ結果、技術料売上が増加し、増益となりました。

環境サービスは、ビル清掃管理事業が、コロナ病棟受託業務の減少などにより減収となりましたが、リースキン事業において非連結子会社を吸収合併したことにより、増収となりました。利益面につきましては、当該吸収合併による業務集約、効率化などの統合効果、ビル清掃管理事業における工程改善に加え、前期に発生した新規事業所立ち上げに係る一時費用等がなくなったほか、前期には不動産売却に伴う一時的な費用の計上があったことから増益となりました。



埼玉新工場が稼働開始

埼玉県南部の毛呂山町に、病院リネン工場および介護用品メンテナンスセンターの機能を有する埼玉工場を新設し、2023年10月より稼働を開始しました。

関東エリアをカバーする新たな基幹工場となる同工場の稼働により、病院関連事業およびシルバー事業の中長期的な収益拡大を目指します。



Close Up!

トーカイグループのなかで最も地球にやさしい工場

最新鋭設備の導入により、病院リネン工場の生産性は、旧工場（横浜工場）と比較し約40%向上するほか、より少ない燃料、電気、水によって生産活動を行うことで、地球環境への負荷軽減にも貢献します。

1 最新設備の導入により 温室効果ガス排出量を抑える

- ・熱効率が高いガス直火型の乾燥機
- ・ロールアイロナーの排熱の再利用
- ・低温で高い消毒効果が得られる過酢酸消毒機能付きのマットレス洗浄機
- ・井戸水を冷媒とした井水ユニットクーラー
- ・コンプレッサー稼働の自動制御システム
- ・太陽光発電の大規模自家活用



▲屋根上の太陽光パネル

2 水資源の有効活用・ 水質の保全

- ・“水”と“熱”を削減する洗濯水リサイクルユニット
- ・洗濯排水を浄化処理して再利用するリサイクル設備



▲排水処理施設



▲最新の連続洗濯機

株式会社ケアクレストをグループ化

9月1日、株式会社ケアクレストの株式を取得しました。ケアクレストは、2005年に創業し、三重県内の5店舗（津市、伊賀市、鈴鹿市、松阪市、名張市）で福祉用具貸与・販売および住宅改修事業を展開しており、地域に根差したサービスによって顧客基盤を築いています。同社をグループ化することにより、シルバー事業の中部地方における顧客基盤の拡大およびシェア向上を目指してまいります。



- ① 津事業所
- ② 伊賀営業所
- ③ 鈴鹿営業所
- ④ 松阪営業所
- ⑤ 名張営業所

リースキン「家庭用クロス」を リニューアル発売

8月1日、リースキンから、お掃除クロスをはじめとする5種類の家庭用クロスをリニューアル発売しました。抗菌加工により、嫌なにおいの原因となる雑菌の繁殖を抑えることができ、これまで以上に衛生的にご使用いただけます。

また、このリニューアルを機に、パッケージの大きさの見直しを行うことで、プラスチック使用量を約30%削減でき、環境に配慮した商品となりました。



たんぽぽ薬局のLINEミニアプリがリニューアル

患者さまとたんぽぽ薬局をつなぐツールとして、2022年8月に開設したLINE公式アカウントでは、「薬の受け取り予約」や「オンライン服薬指導」などさまざまな機能をご利用いただくことができます。開設から一年が経過し、11月1日現在、アカウントの友だち登録者数は75,000人に達しています。

2023年10月にはアプリ内のメニューを刷新し、より見やすく、使いやすくリニューアルしました。引き続き、ご利用の皆様の健康管理に役立つさまざまなコンテンツを提供してまいりますので、ぜひ当アカウントをご活用ください。

★友だち登録
のご案内



QRコードをスキャンするとLINEの友だちに追加されます。

QRコードをスキャンするには、スマートフォンのカメラもしくは、LINEアプリのコードリーダーをご利用ください。

会社の概況 (2023年9月30日現在)

会社の概況	
会社の設立	1955年7月21日
資本金	8,108百万円
本社	岐阜県岐阜市若宮町九丁目16番地
羽島本部	岐阜県羽島市正木町須賀赤松2627番地
事業所数	74拠点
工場数	10工場
従業員数	4,284名(連結)

(注)従業員数に臨時従業員は含めておりません。

取締役 (監査等委員である取締役を除く。)	
代表取締役会長	小野 木 孝 二
代表取締役社長	浅 井 利 明
専務取締役	白 木 元 朗
取締役	広 瀬 章 義
取締役	松 野 英 子
取締役	浅 野 智 義
取締役	小 里 孝
取締役	川 村 治 夫

(注)取締役小里孝氏および川村治夫氏は、社外取締役であります。

監査等委員である取締役	
取締役	村 木 利 光
取締役	川 添 衆
取締役	宇 野 裕

(注)取締役川添衆氏および宇野裕氏は、社外取締役であります。

重要な子会社の状況			
会 社 名	資本金 (百万円)	議決権の 所有割合(%)	主要な事業内容
(株) トーカイ (四国)	56	100.0	病院関連事業および 寝具・リネンサプライ事業
(株) プレックス	20	100.0 (100.0)	クリーニング設備の製造 および販売
(株) 同仁社	200	91.1	病院関連事業、寝具・リネン サプライ事業、シルバー事業 およびリースキン事業
ゆうえる (株)	14	100.0	シルバー事業
トーカイフーズ (株)	12	100.0	病院給食事業
(株) サン・シング東海	100	51.0	布団製造
たんぼぼ薬局 (株)	693	100.0	調剤薬局事業
(株) ティ・アシスト	10	100.0	ビル清掃管理事業
(株) ビルメン	30	100.0 (100.0)	ビル清掃管理事業
(株) リースキンサポート	30	100.0	マット・モップ等の配送 および交換
(株) サカタ	50	100.0	モップ・ロールタオルの 製造
九州メガソーラー (株)	67	100.0	太陽光を活用した 売電事業
(株) 日本情報マート	30	99.7	中堅中小企業向け 経営コンテンツ提供事業

(注)議決権の所有割合は間接保有分を含めており、()内は、内書で間接保有分であります。

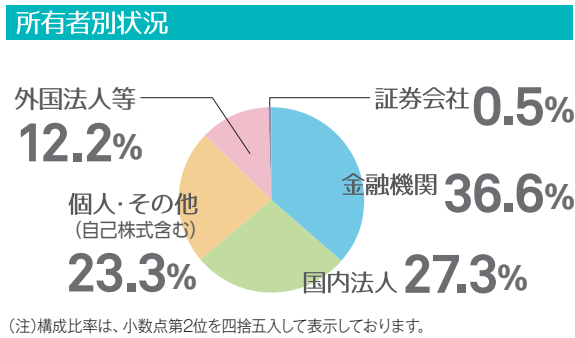
連結財務諸表 (2023年9月30日現在)

連結貸借対照表 (要約)		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
資 産 の 部		
流 動 資 産	62,628	62,218
固 定 資 産	48,157	53,483
有 形 固 定 資 産	32,592	36,633
無 形 固 定 資 産	1,694	1,603
投 資 そ の 他 の 資 産	13,870	15,247
資 産 合 計	110,785	115,701
負 債 の 部		
流 動 負 債	23,561	26,682
固 定 負 債	5,000	5,043
負 債 合 計	28,562	31,725
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	79,856	81,075
資 本 金	8,108	8,108
資 本 剰 余 金	4,934	4,920
利 益 剰 余 金	68,715	69,983
自 己 株 式	△1,901	△1,936
その他の包括利益累計額	1,798	2,320
その他有価証券評価差額金	1,816	2,334
退職給付に係る調整累計額	△17	△14
非 支 配 株 主 持 分	568	580
純 資 産 合 計	82,223	83,976
負 債 純 資 産 合 計	110,785	115,701

連結損益計算書 (要約)		(単位:百万円)
	当第2四半期 連結累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
売 上 高	64,091	67,865
売 上 原 価	48,583	51,401
売 上 総 利 益	15,508	16,463
販売費および一般管理費	11,940	12,778
営 業 利 益	3,567	3,684
営業外収益	243	262
営業外費用	89	77
経 常 利 益	3,720	3,869
特別利益	1,079	－
特別損失	105	40
税金等調整前 四半期純利益	4,695	3,829
法人税等	1,533	1,180
四 半 期 純 利 益	3,161	2,649
非支配株主に帰属する 四半期純利益	31	22
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,130	2,626

株式の状況 (2023年9月30日現在)

株式の状況	
発行可能株式総数	普通株式 114,000,000株
発行済株式の総数	普通株式 35,206,970株 (自己株式 834,376株を除く。)
株主数	4,374名 (自己株名義含)



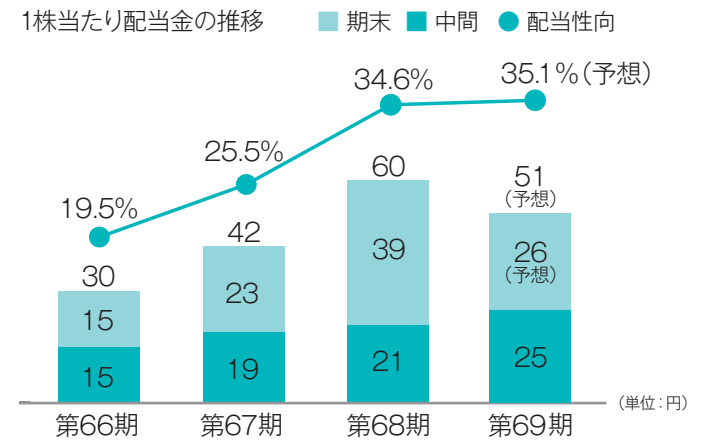
配当政策

当社は、企業価値の向上および株主価値の最大化を図るべく、事業拡大のための必要な投資資金としての内部留保を確保すると同時に、利益配分につきましては、安定的かつ業績に応じた配当を継続することおよび配当性向35%を目安として配当金額を決定することを配当政策の基本方針としております。

また、当社は中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うこととしております。

大株主 (上位10名)			
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)	
(株) 小野木興産	5,640	16.02	
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,831	8.04	
(株) 大垣共立銀行	1,420	4.03	
(株) 十六銀行	1,410	4.00	
トーカイ共友会	1,399	3.97	
岐阜信用金庫	1,344	3.81	
(株) 三菱UFJ銀行	1,339	3.80	
小野木 孝二	1,127	3.20	
(株) 北陸銀行	1,051	2.98	
(株) 日本カストディ銀行(信託口)	1,010	2.87	

(注)持株比率は、自己株式(834,376株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。



株主アンケート集計結果のご報告

本年の株主優待お申し込みと併せて実施いたしました「株主アンケート」につきまして、計3,318名の株主様よりご回答をいただきました。その集計結果の一部をここにご紹介いたします。

Q 当社に関して、もっと知りたいと思われる情報をお教えてください。(複数回答可)

項目	回答数
事業・サービスの内容	1,276
業績・財務情報の詳細	833
中期経営計画の内容・進捗	786
市場環境	511
経営者のビジョン・理念	511
ESGへの取り組み	145
その他	178

Q 当社のIR情報の発信方法として、今後、充実を期待するものをお教えてください。(複数回答可)

項目	回答数
ホームページの内容やコンテンツの更新	1,504
株主通信など冊子類での情報提供	936
ニュースリリース等による情報開示	583
WEBでの会社説明会等の実施	303
対面での会社説明会等の実施	144
その他	164

株主優待制度のご案内

毎年3月31日現在、株主名簿に記載された株主様に対し、その時点における保有株式数および保有期間に応じて、以下の基準のとおり株主優待品を贈呈いたします。

	保有期間1年未満の株主様	保有期間1年以上の株主様
100株以上 1,000株未満	トーカイオリジナルカレー 3人前	トーカイオリジナルカレー 3人前 もしくは 岐阜県の名産品 (1,000円相当) の中から一品選択
1,000株以上 10,000株未満	トーカイオリジナルカレー 9人前	トーカイオリジナルカレー 9人前 もしくは 岐阜県の名産品 (3,000円相当) の中から一品選択
10,000株以上	トーカイオリジナルカレー 15人前	トーカイオリジナルカレー 15人前 もしくは 岐阜県の名産品 (5,000円相当) の中から一品選択

優待品の贈呈に代えて、社会貢献活動への寄付を選択することができます。

2023年
株主優待における寄付のご報告

ご寄付の総額

149,000円

2023年当社株主優待において、計65名の株主様より、社会貢献活動への寄付のお申し込みをいただきました。皆様からお預かりした総額149,000円は、日本赤十字社を通じて「令和5年台風13号災害義援金」として寄付いたしましたことを、ここにご報告申しあげます。皆様のご協力に、心より御礼申しあげます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当／毎年3月31日 中間配当／毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〈電話〉 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土日、金融機関休業日を除く) https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
一単元の株式の数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告方法	電子公告によります。 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告のホームページアドレス https://www.tokai-corp.com/finance/

各種株式事務のお問い合わせについては、以下の当社ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.tokai-corp.com/finance/stocks/info/>